



ヨコハマ **想**い vol.88

バネに
かかった
気持ちで!
Ando Yoko

振付家/ダンサー
安藤 洋子さん
Ando Yoko

1967年、横浜市生まれ。木佐貫邦子に師事。2001年よりフランクフルト・バレエ団に入団、2004年同団解散後も引き続きザ・フォーサイズ・カンパニーに在籍し、15年のカンパニー解散までの15年間、中心ダンサーとして世界各国の舞台上で踊る。ZOU-NO-HANA BALLET PROJECTリーダー。神奈川県共生共創事業「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」プロジェクトリーダー。

大器晩成のシンデレラストーリー

フランクフルト・バレエ団のウィリアム・フォーサイズから入団のお誘いがあったのは今から21年前。その年の1月1日、私の34歳の誕生日、なぜか人生が大きく変わる予感がしたんです。そしてその2カ月後、私の踊りを目にしたフォーサイズに「僕と一緒に仕事しないか」と言われました。フォーサイズといえば雲の上の人。さかのぼること10年ほど前、初めて彼の舞台を観た時、異次元すぎて何を目撃したのか覚えてないくらい衝撃を受けた憧れの振付家だったので、「気が変わらないうちに契約書にサインして!」という気持ちでした(笑)。

日本で何年もかけて踊ってきた作品数を彼の下でたった1年で踊ってしまうくらい濃い時間を過ごしました。バレエ団の団員は

多国籍で共通言語は英語。日本人は私一人で、孤独に苛まれることもありましたが、心の支えになったのは祖母がいつも言っていた「バネにかかった気持ちで」というコトバです。常に心軽やかに、張りすぎず、緩みすぎず、弛みなく精進努力することの大切さを伝えてくれました。バレエ団解散後はザ・フォーサイズ・カンパニーの一員として、ドイツでの15年、知的で好奇心にあふれ、難解で魅力的なフォーサイズと共に駆け抜けました。

出会いは『フラッシュダンス』

実は小さい頃からダンスを習っていたわけではないんです。東白楽にあるお寺で育ち、子どもの頃からお祭りが大好きで、特に盆踊りではやぐらからずっと下りてこない子でしたから、踊ることは好きだったんですよね。高校生の時大ヒットしたアメリカ映画

現代バレエ界の鬼才ウィリアム・フォーサイズ率いるフランクフルト・バレエ団にアジア人として初めて入団し、15年にわたり世界中の舞台上で活躍してきたダンサーの安藤洋子さん。フォーサイズとの思い出、ダンスを始めたきっかけ、そして50代になった今の思いを語っていただいた。

『フラッシュダンス』を観てすっかり魅了され、「こんな風に踊れるようになりたい!」とジャズダンスを習い始めました。でもダンサーになりたいと夢見ることもなく、普通に進学して就職しました。ところがある日、青山のスパイラルホールで木佐貫邦子さんの踊りを観て衝撃を受け、仕事を辞めてプロになろうと決心。20代前半のことです。

うねりの中で過ごした20代

木佐貫先生の下で稽古するようになり、その生き様やダンスに向かう姿勢などさまざまなことを学びました。若手が踊れる機会をつくってくださったこと、今ではレジェンドと称される方々と一緒にできたこと、新しいダンスのウェブの中、刺激に溢れたうねりの中にいられたことを感謝しています。

今思うとすごい渦の中にいましたが、20代の自分はただひたすらに毎日ダンサーとしての身体づくりを地道にやっていました。あまりにも果てしない作業に道を迷うこともありましたが、OLは一度経験したし、もう他の職業には就かない、心惹かれることをやっていくと決めていたので、どんなに地味でもコツコツがんばれました。そして20代の終わり、野田秀樹さんの舞台のオーディションを受けて、3,000人の中から選ばれたんです。この舞台では言葉のチカラ、演劇の素晴らしさに出会えました。小澤征爾さんや坂本龍一さんのオペラの舞台上で踊らせていただいたことも貴重な経験でした。

横浜への恩返し

2015年にカンパニーが解散して、しばらくはニューヨークと日本を拠点にしていたが、今は横浜に戻りました。海外にいる時は常に戦闘態勢だったので、ここにいるとほっとします。港があり、ここから世界に発信していくと同時に入り口でもある。海外では

「横浜」という単語が通じるんですよ。今、横浜からダンサーを発掘・育成する「ZOU-NO-HANA BALLET PROJECT」に携わらせていただいています。ヨーロッパで感じたことをジャンルを超えてダンサーに伝えていけたら、そして横浜らしいものを発信していけたらと試行錯誤中。生まれ育った横浜に恩返しできたらと応援団長のような気持ちです。

50代を感じさせない

3年に一度横浜で開催されるダンスフェスティバルの『エリア50代』という舞台で踊らせていただきます。元モーリス・ベジャール・バレエ団のダンサーで振付家の小林十市さんが企画を立ち上げて50代ダンサーが集まりますが、ここをどう乗り越えるかで人生の後半が変わると皆さん思っているのでは。そして自分たちが50代だなんて誰も思わせないんじゃないかな。私自身、「何かができない」ことを年齢のせいにはしたくない。若い頃自分を痛めつけていたのとは違うやり方で力を抜いてどう鍛錬していくか日々考えています。今まで踊らせてもらってきて、いつどこで誰と出会うかという「点」を紡いで一つの強い線にしていくこと。一つの線を横に引いたときに、共に闘っている同じ世代と出会う。そんな企画なんじゃないでしょうか。50代ともなると今までの実績にとられてしまいがちですが、そこを捨てて開放されていく、そんなことを思いながら舞台に立ちます。

Dance Dance Dance@YOKOHAMA 2021
『エリア50代』
9月23日(木・祝) 18時開演
出演/小林十市 近藤良平
guest: 安藤洋子
会場/KAAT 神奈川芸術劇場(大スタジオ)
料金/一般 4,000円 ほか
問合せ/☎045(453)5080 DDDチケットセンター



初心者対象 手結びのきもの着付教室

通常全 8 回 12,000 円 (1 回 1,500 円 × 8 回) → 受講料 0 円

◆カリキュラム◆

ゆかたの着方と半幅帯、普段着の着方、名古屋帯のお太鼓結び、フォーマルの着方、袋帯の二重太鼓結び(全て手結びで行います)
※着物、長襦袢、帯の貸し出し有り(全8回3,500円)

◆開講要項◆

期間/週1回の2ヶ月(応募者には開講日の1週間前に受講券を送付)
定員/各時間5名
受講料/無料 ※但し教材費として期間中6,900円(税込)必要

教室	9月生		10月生		時間	会場
	コース	開講日	コース	開講日		
横浜	金曜	9/17	木曜	10/21	A・B・C	横浜駅西口 歩4分
銀座	月曜	9/27	水曜	10/13	A・B・C	有楽町駅銀座口 歩5分
新宿	金曜	9/17	木曜	10/21	A・B・C	新宿駅西口 歩5分
池袋	火曜	9/14	金曜	10/22	A・B・C	池袋駅西口 歩4分

A(10:30~12:00)/B(14:00~15:30)/C(19:00~20:30)

彩きもの学院
お申し込みは「ヨコハマよみうり」係へ

https://www.saikimonogakuin.co.jp/

☎0120-073005